

片面無機板複合高性能フェノールフォーム

ネオマフォーム[®] UF51mm品

打込み・不燃・高断熱

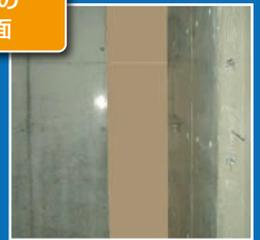
不燃材料認定番号 NM-5331 (厚さ13mm~51mm対応※)

コンクリート打込み性能と不燃性能という両方を兼ね備えた高機能断熱製品。ネオマフォームUFに、新たなラインナップ、厚さ51mm品が加わりました(新規に不燃材料認定取得)。RC建築での断熱意識の高まりの中、建物各所で必要とされる熱抵抗2.5 [(m²・K)/W] に対応可能なため、建物性能の向上に大きく貢献する製品です。

※従来の不燃材料認定番号 NM-3751は、厚さ13mm~34mmまでの対応となりますのでご注意ください。



製品外観



※写真はイメージです。

ネオマフォームUFの特徴

1 高断熱性能 熱抵抗2.5を厚さ51mmでクリア

ネオマフォームUFの熱伝導率は0.020 [W/(m・K)]。最高レベルの断熱性能で、熱抵抗2.5 [(m²・K)/W] を厚さ51mmでクリアできます。

2 不燃認定取得、素材自体も耐燃焼性に優れ安全

不燃材料認定を取得しているため、内装制限が必要な部位にも使用可能です。また、ネオマフォーム本体はバーナーの炎に直接触れても燃焼は起こらず、炭化する性質を持っています。ネオマフォームUFの表面仕様も近接場所での火気作業でも容易に着火・発火しない性能を保持しており、安全です。

3 空間の有効利用(天井不要)

不燃材料認定を取得しているため、天井で不燃材を設置する必要がありません。駐車場等、不燃要求のある部位での空間を有効活用する建物設計に貢献します。

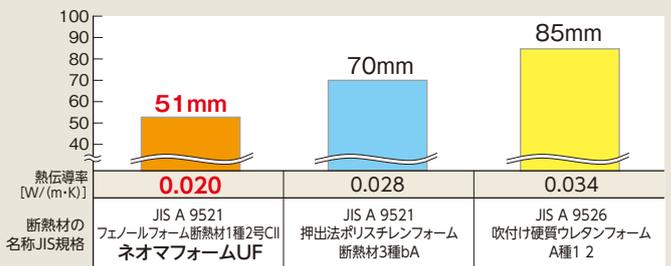
4 RC打込みに対応、工期短縮や施工手間を軽減

RC打込みが可能で、型枠設置時に断熱工事が完了します。現場発泡ウレタン吹付と比べて、上向きでの吹付作業、足場設置が不要なため、工期短縮や現場手間の低減に繋がります。

5 軽量性

不燃材料であるケイ酸カルシウム板やせっこうボード12.5mmと比較して軽量のため、天井に使用しても安全で、施工性に優れます。

●同断熱性能の厚さ比較[熱抵抗2.5 (m²・K)/W]



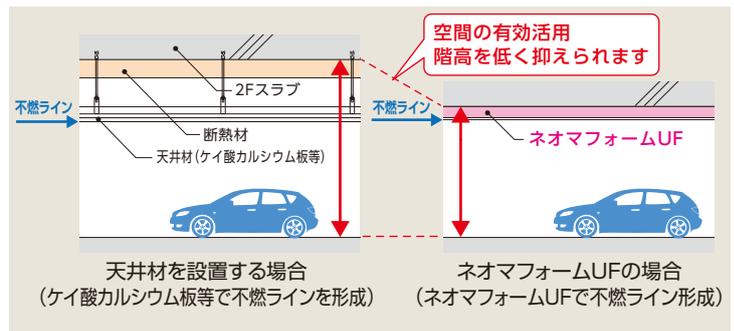
バーナー試験 (炭化)



直上での溶接作業

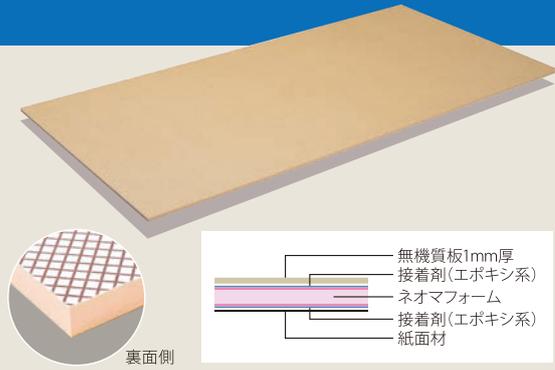


ガス溶断作業



ネオフォームUF

片面無機質板、片面紙面材複合ネオフォーム高密度品



■ 断熱材の基本物性(高密度品)

項目	物性値
熱伝導率[W/(m・K)]	0.020以下
密度(kg/m ³)	38以上
圧縮強さ(N/cm ²)	22以上

ネオフォームの物性値は、測定データの代表値
(試験方法) ■密度、圧縮強さ: JIS A 9521、JIS A 9511
■熱伝導率: JIS A 1412

構成	
断熱材 ネオフォーム高密度品 JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CII JIS A 9511フェノールフォーム保温板1種2号C	複合材料 片面無機質板、片面紙面材

■ 製品規格

品番	厚さ(mm)		幅(mm)	長さ(mm)	EI認証*1 対象	熱抵抗*2 [(m ² ・K)/W]
	フォーム	総厚				
13UF-45	12	13	450	1800	●	0.6
13UF-90		22				
22UF-90	21	22	900	●	1.1	
26UF-90		26				
34UF-90	33	34	900	●	1.3	
51UF-90		51				
NEW 51UF-90	50	51	900	●	1.7	
		51				

*1 34UF-90の断熱材はJIS A 9511フェノールフォーム保温板1種2号C。
*2 熱抵抗はネオフォーム単体(複合材料の断熱性能を含まない)の断熱性として示します。



■優良断熱材(EI)認証制度について
「優良断熱材認証制度」は一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会が優れた品質管理のもとに安定した断熱性能を有する優良断熱材(EI)を認証する制度です。
省エネ基準適合義務化の断熱性能の確認において、JISと並ぶ第三者認証制度として利用できます。

■ ホルムアルデヒド放散について

ネオフォームUFは下記の材料で構成されていますので、内装仕上げの使用面積制限なくお使いいただけます。

ネオフォーム高密度品	JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CII☆☆☆☆ JIS A 9511A種フェノールフォーム保温板1種2号F☆☆☆☆
紙面材	ホルムアルデヒド含有なし
無機質板	ホルムアルデヒド含有なし
接着剤	非ホルムアルデヒド系(規制物質対象外)

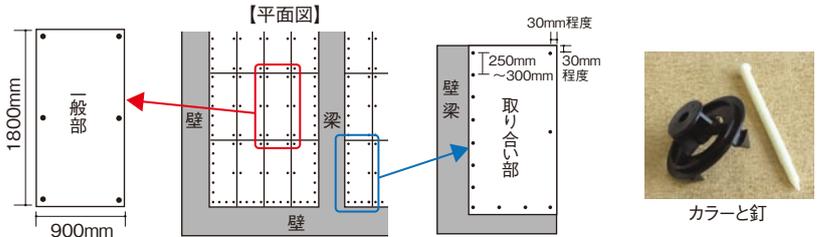
■ ネオマキーパーII (型枠仮止め用 専用カラーとプラスチック釘セット)

品種	釘の長さ	ネオフォームUF
ネオマキーパーII・A	38mm	13mm
ネオマキーパーII・B	47mm	22mm
ネオマキーパーII・C	51mm	26mm
ネオマキーパーII・D	59mm	34mm
NEW ネオマキーパーII・E	76mm	51mm

固定ピッチの目安

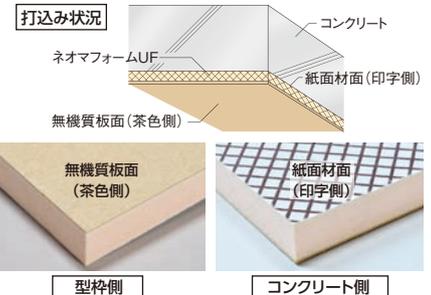
端部から	約30mm
一般部	900mm(6本/枚)
取り合い部	250~300mm

※ネオフォームUFの型枠への仮留めは、「ネオマキーパーII」を必ず使用してください。



■ 主な注意事項

- 無機質板(茶色側)が必ず型枠側となるように施工してください(コンクリート側が紙面材(白色側))。
 - ネオフォームUFの型枠への固定は、専用の「ネオマキーパーII」を必ず使用し、所定のピッチで型枠に固定してください。
 - ネオフォームUFの小口や表面側にノロがまわり込まないように、相互の目地等はテープ止め等の処置を行ってください。
 - 出隅部は、現場で留めにする等型枠脱型後にフォーム部分が露出しないようにしてください。
 - ネオフォームUFを型枠に設置した後は、すみやかにコンクリートを打設してください。
 - 施工後にドレンやクラック等を通じて水分が供給されつづくと、ネオフォームUFが変形したり、コンクリートとの接触面から剥がれるおそれがありますので、このような箇所がある場合には雨水が流入しないよう養生してください。
- ※その他、詳細についてはネオフォームUF施工要領書をご参照ください。



【参考資料】住宅性能表示 断熱等級4 ネオフォームUF適合厚さ(鉄筋コンクリート造)

等級	断熱材の 施工方法	部位	地域の区分						
			1及び2		3		4, 5, 6及び7		
			基準値 [(m ² ・K)/W]	必要厚さ(mm)	基準値 [(m ² ・K)/W]	必要厚さ(mm)	基準値 [(m ² ・K)/W]	必要厚さ(mm)	
等級4	内断熱工法	屋根又は天井	3.6	—	2.7	—	2.5	51	
		壁	外気に接する部分	2.3	—	1.8	51	1.1	26
			その他の部分	3.2	—	2.6	—	2.1	51
		床	外気に接する部分	2.2	51	1.8	51	1.5	34
			その他の部分	1.7	34	1.4	34	0.8	22
		土間床等の外周部分の基礎	その他の部分	0.5	13	0.4	13	0.2	13
	外断熱工法	断熱補強	0.6	13	0.6	13	0.6	13	
		屋根又は天井	3.0	—	2.2	—	2.0	51	
		壁	外気に接する部分	1.8	51	1.5	34	0.9	22
			その他の部分	3.2	—	2.6	—	2.1	51
		床	外気に接する部分	2.2	51	1.8	—	1.5	34
			その他の部分	1.7	34	1.4	—	0.8	26
土間床等の外周部分の基礎	その他の部分	0.5	13	0.4	13	0.2	13		
	断熱補強	0.6	13	0.6	13	0.6	13		

※基準値は断熱材の熱抵抗、必要厚さの数値はネオフォームUFの厚さを示す。

※断熱等級4の熱抵抗の基準によって断熱材厚さを求めることが可能です。但し、開口部面積比率に応じて、必要とされる開口部の断熱性能に関する規定がありますので、ご注意ください。

旭化成建材株式会社 <https://www.asahikasei-kenzai.com/>

本社 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105(神保町三井ビルディング) TEL.03-3296-3531 FAX.03-3296-3535
札幌 〒060-0002 札幌市中央区北二条西1丁目1(マルイト札幌ビル) TEL.011-261-5443 FAX.011-261-0975
仙台 〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-1-1(仙台ファーストタワー) TEL.022-223-8171 FAX.022-211-9526
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11(名古屋インターシティ) TEL.052-212-2251 FAX.052-212-2257
大阪 〒530-8205 大阪市北区中之島3-3-23(中之島ダイビル) TEL.06-7636-3838 FAX.06-7636-3828
福岡 〒810-0012 福岡市中央区白金1-20-3(紙と薬院ビル) TEL.092-526-2107 FAX.092-526-2492

●お問い合わせは